




ESG情報開示研究会の概要（一般会員入会ご希望者向け）

■ 私たちの考え

 Vision	私たちは社会の持続的な発展と、企業が自らの価値を高め成長することを調和させる仕組みを創造します。
 Mission	<ul style="list-style-type: none">効果的で効率的なESG情報開示のフレームワークの探究実践例（実証）の蓄積より良い意思決定に向けたステークホルダー間の相互理解の促進
 Values	<ul style="list-style-type: none">パートナーシップによって個では解決できない課題の解決に挑む。お互いに敬意を払い、多様性を尊重する。長期的かつ幅広い戦略的視点を持つ。

■ 実施要領

- 内容 : ESG情報開示のより良い在り方に関する調査研究と情報発信
場所 : 東京近郊 *現在リモート会議（ZOOM）で開催
会員数 : 130法人(2024年10月1日時点)

■ 一般会員

	内容
主な入会のメリット	<ul style="list-style-type: none">会員限定の催事への参加<ul style="list-style-type: none">定期報告会(2回/年)、ウェビナー(2回/年)、勉強会(1回/月)分科会(*有償の場合有)会員限定資料へのアクセス
会費	<ul style="list-style-type: none">入会金：無年会費：6万円（非課税。会期7月～翌6月[1年間]、途中入会可）
入会条件	<ul style="list-style-type: none">民間企業・各種団体(法人)であること会員規約に同意いただけること (※営業目的での入会は固くお断りしています。)







■ 分科会のご紹介（2024年9月末時点で募集中のもの。）

分科会名	内容
統合報告書改善分科会	参加法人ごとに、統合報告書の改善について自由にテーマを設定し、そのテーマについて機関投資家や他の上場企業などに助言を求めることができる。また、専門家がコーディネーターとして改善活動の伴走をする。【参加費：100万円(税別)】
サステナビリティ人材育成分科会	発行体・運用機関を問わず共通的な課題となっているサステナビリティ人材の育成を会員間の相互サポートにより行う。月次開催 10回を予定。 【参加費：5万円～】

■過去の勉強会テーマ（抜粋）

ご講演者	ご講演タイトル
有限責任あずさ監査法人	日本企業の企業報告における開示内容の現状
経済産業省	価値創造経営の推進とそれに向けた企業情報開示のあり方
サステナビリティ基準委員会(SSBJ)	SSBJ基準案の概要 – IFRSサステナビリティ開示基準との差異等を中心に
関西大学	AIによるESG評価
H R ガバナンス・リーダーズ株式会社	経営者報酬の現在と未来
三菱UFJ信託銀行株式会社	投資家の視点から見たD&I情報開示の好事例
一般社団法人ESG情報開示研究会 代表理事 北川哲雄	これからの企業情報開示と経営者エンゲージメントに求められること
EY新日本有限責任監査法人	インパクト加重会計（IWA）と日本・グローバルにおける企業価値創造の未来
九州大学	日本から世界へーESG評価におけるルールメイキングをー
ISSB(国際サステナビリティ基準審議会)	ISSB基準:より良い意思決定のための、より良い情報
経済産業省	サステナビリティ関連データの効率的な収集及び戦略的活用に関する報告書（中間整理）の概要説明
アセットマネジメントOne株式会社	IFRS財団における統合報告（IR）の最新動向

■参加企業の声

<p>ESGの第一線にいらっしゃる方々のご意見を伺うことができ、ESG情報開示のトレンドを把握できる</p> <p>—製造業— </p>	<p>機関投資家・運用会社と1 on 1 ミーティングを通じて接点が深まり実務に即した対話ができた</p> <p>—建設業— </p>	<p>様々な業種の実務担当者をはじめ、投資家、有識者の方々との意見交換、情報収集を行うことができる</p> <p>—情報通信サービス— </p>
<p>勉強会のテーマが毎回ちょうど気になっていることで、スピーカーもプロフェッショナルで説明がわかりやすい</p> <p>—製造業— </p>	<p>業種や立場(事業会社/投資家)の違う参加者の皆様と意見交換することができ、自社の取り組み推進に活用できる</p> <p>—金融— </p>	<p>既に開示改善意欲の高い企業様が、更なる改善に向けた議論を行うことで、日本企業全体の開示底上げに繋がっている</p> <p>—運用機関— </p>

■お問い合わせ先

一般社団法人ESG情報開示研究会 事務局
有限責任監査法人トーマツ内 [担当：峯山、金岡]
連絡先 edsg_contact@tohmatu.co.jp